



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

ライブラリートーク

メディアから見えないシリアの人々の暮らし



国連大学ライブラリーは、国際的な社会問題を取り上げた「ライブラリートーク」を開催しています。今回は、写真の展示に合わせたトークセッションを開催します。

普段私たちが新聞やテレビで目にする事のないシリアの人々の日常生活は、歴史の中で受け継がれてきた文化や価値に満ち溢れています。このイベントでは、シリアの人々の食文化、日常、考古学、そして難民生活に光を当てながら、こうした遺産について考えます。

写真展示では、劣悪な環境下にあっても家族や友人たちと食卓を囲むひとときがどんなものなのか、「難民」という記号の裏に隠されたシリアの方、一人一人の素顔を伝えます。

トークセッションでは、シリアの食卓、シリア人の日常、歴史遺産としての考古学、難民生活について、4名のゲストスピーカーが語り、参加者の皆様からの疑問に答えます。現在のシリアの日常とその遺産を感じて頂けるまたとない機会となるはずです。

2016年3月26日(土)

11:00-13:00

場所:

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

国連大学 1階ホール

写真展示:

2016年3月14日~28日、国連大学ライブラリー

スピーカー

田邑恵子 JICA、国連開発計画、セーブ・ザ・チルドレンなどで開発援助・復興支援の仕事に15年ほど従事。現在は、フリーランスでシリア危機被災者の日常を伝える写真展企画を国内外で行っている。

山崎やよい 考古学の専門家としてシリアに20年以上暮らし、帰国後は、シリア人女性との共同事業「イブラ・ワ・ハイト」発起人となる。

ターレク・カトウラミーズ ダマスカス生まれ。文部科学省の奨学金を得て来日し、慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程に在籍中。

本多麻純 AAR Japan [難民を助ける会]支援事業部主任。2014年から2015年までの1年間トルコにてシリア人難民支援に従事。帰国後もシリア事業を担当。

参加登録

参加ご希望の方は、UNU-IASウェブサイトからお申し込み頂くか、Eメール(library@unu.edu)、電話(03-5467-1359)またはFAX(03-5467-1360)でお申し込みください。登録は2016年3月25日までにお願いします。

なお、今回のイベントは日本語で開催されます。

写真展示は無料です。